

令和2年7月8日付・山陰中央新報

島大、県立大、県庁へ爆破予告

ネットに「10日」、休講など措置

島根大(松江市西川津町)、島根県立大(浜田市野原町)と県庁(松江市殿町)を「10日に爆破する」との書き込みがインターネットの掲示板に書き込まれたことが7日、分かった。両大学は警察に通報し、10日は休講などの措置を取る。

県立大によると情報提供を受け、6日に職員が書き込みを確認した。書き込みは「島根大および島根県立大を10日10時に爆破する。余った爆薬で島根県庁にも穴を開ける」「キャンパス

最寄りバス停付近で通行人を刃物で切り付ける」との内容だった。

県立大は全キャンパスで10日午前の授業を休講。島根大は松江、出雲両キャンパスで教職員は10日午前8時半から正午まで、学生と学外者を9日正午から10日午後5時まで立ち入り禁止にする。島根大付属義務教育学校・付属幼稚園は終日休校・園とする。

全国の大学で同様の予告が相次いでおり、関連を調べている。

県立大学園祭を中止

浜田・松江
両キャンパス

島根県立大（本部・浜田市野原町）の浜田、松江両キャンパスでそれぞれ10月に行われる予定だった学園祭が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。6月の予定だった出雲キャンパスも中止となっていた。

浜田の「海遊祭」は10月

10、11の両日、松江の「飛鳥祭」は同17、18の両日の予定だった。例年、有名人のトークショーやライブのほか、クラブ、サークルごとの出店などがあり、学生や市民らでにぎわっていた。

（陶山貴史）

支援励みに地域へ貢献

県立大松江 福祉財団奨学生に 藤村さん

県立大人間文化学部2年の藤村光さん(19)は松江市東出雲町掛屋が、障害のある学生を支援する公益財団法人ヤマト福祉財団(東京都)の奨学生に選ばれた。

22日、同大松江キャンパス(松江市浜乃木7丁目)で決定書の授与式があった。

障害のある人たちの自立と社会参加を支援する事業の一つで、本年度は全国から79人の応募があり、藤村さんを含め11人の学生に奨学金支給が決まった。

難病の脊髄性筋萎縮症を患い、車椅子で生活する藤村さんは、昨年も応募したが選から漏れた。2回目の挑戦では、地域に貢献したいという熱意と大学入学後に会員制交流サイト(SN

S)を使って観光情報を発信してきた活動を作文でアピールした。卒業までの間、毎月5万円の奨学金を受け取るという。

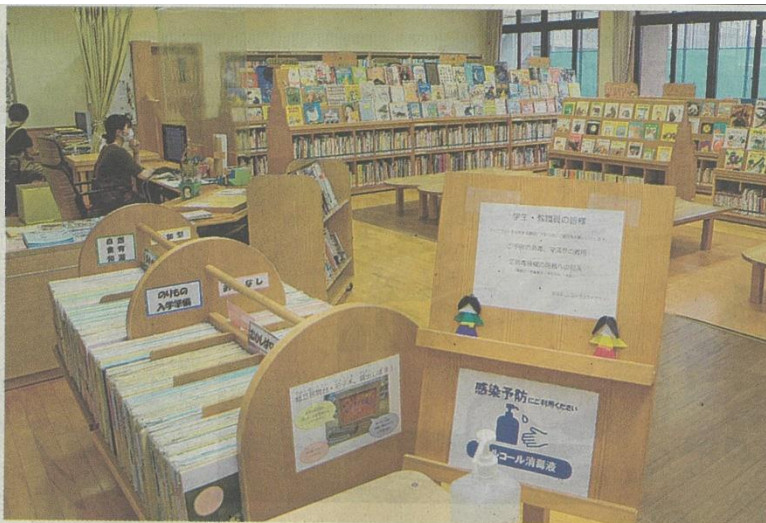
藤村さんは「地域に貢献して恩返しができるよう、いろいろな経験していきたい」と感謝した。

(藤本ちあき)



奨学金支給決定書を受け取る藤村光さん(右)

再開に向けカウンターにビニールシートを設置するなど
感染対策を進めるおはなしレストランライブラリーの館
内。松江市浜乃木7丁目、島根県立大松江キャンパス



新型コロナウイルスの影響で3月から臨時休館し
ていた島根県立大松江キャンパス（松江市浜乃木7
丁目）内の絵本図書館「おはなしレストランライブ
ラリー」が、8月1日に再開する。5カ月もの間、
手に取られることのなかった絵本たちが、夏休み
に入った子どもたちとの再会を心待ちにしている。

（増田枝里子）

県立大松江内おはなしライブラリー

8月再開 絵本待ってるよ

イベントお預け 滞在時短へ知恵

当面は貸し出しと返却に
限定。人気の高い読み聞か
せイベントなどは引き続き
休止する。利用は一組30分
以内とし、上限20人に達す
れば入場制限を行う場合が
ある。要望があれば、司書
が選ぶ「おすすめセット」
を用意し、滞在時間の短縮
を促すなどの策も検討して
いる。

同館は、親子でゆっく
りと読んでから借りる本を決
めたり、塗り絵や人形で遊
んだり、30分以上ゆった
りと過ごせるのが特長。司
書との会話を楽しみにして
いる保護者も多く、単に本
を借りるだけでなく親子で
リフレッシュできる場とし
ての役割もある。

7月上旬、同館では、司
書の尾崎智子さん（43）と内
田絢子さん（32）2人が、静
かに作業をしていた。ずら
りと絵本が並び空間に子ど
もたちや学生のにぎやかな

声はなかった。

尾崎さんは「外出自粛期
間こそ、子どもたちにとっ
て必要だったはずの絵本が
提供できず、心苦しかった
と振り返る。休館前の3月、
春の新生活への不安を抱え
ていた保護者や、子どもた
ちのその後がずっと気にな

っている。休館中は新しい
絵本が250冊以上仲間入
りした。新刊を手にするこ
「この本、絶対喜ぶだろう
な。早く読ませてあげたい
な」と、子どもたちの顔が
浮かぶという。

内田さんは、読み聞かせ
イベントなどが再開後も実
施できないもどかしさを感じ
つつ、「この5カ月を思
えば再開できるだけでもう
れしい。『密』を避けなが
ら、子どもたちが楽しく絵
本を選べる環境を整えた
い」と話した。

～山陰で暮らそう～

多言語で話したい!



ゆっくり休んで

身近な人が体調を崩したときに、役立つフレーズを紹介する。それぞれの国の言葉を覚えて、相手を気遣う気持ちを表現しよう。

日本では病状の重さにかかわらず、「お大事に」を使うのが一般的だが、国によっては重大な病気にかかった患者への声掛けになる。「ゆっくり休んで」と、より具体的な言葉で静養するよう勧める国もある。(山口春絵)

いたわる

- (ポ) お大事に
Melhoras
メリョオラス
- (中) ゆっくり休んでください
好好休息吧
ハオハオ シュシバ
- (ハ) お大事に
Hãy giữ gìn sức khỏe
ハイ シウ ジン スッフエ
- (イ) 無理しないでくださいね
Jangan dipaksakan
ジャンガン ディパクサカン
- (タ) ゆっくり休んでください
Mag-pahinga ka ha
マグ パヒンガ カハ



※(ポ)…ポルトガル語、(中)…中国語、(ハ)…ベトナム語、(イ)…インドネシア語、(タ)…タガログ語

(イラスト・たかはしちかえ)

インドネシア人

お見舞いにぎやか

インドネシアで、滞在していた家のおばあさんが入院したため、お見舞いに行っただけなのに、病室に入ると、なんだかにぎやかだ。ベッドの下にぎやが敷いてあり、親戚の人々が集まっていた。ござの上で、まるで家にいるように、お菓子や果物を口にしながら、くつろいでおしゃべりをしている。日本とは違いにぎやかなお見舞いに、そのときは驚いた。

インドネシアの人は、日常でも、一人になると静かにゆっくり休める環境とや、静かな状態を嫌う傾向がある。その状態を避けるために、こうしたお見舞いの仕方をしている。退院後、そのおばあさんの療養用ベッドは、家族がいつも集まるにぎやかな居間に置かれた。日本だったら、病気の人が大津教授 毎週木曜掲載

音声はこちら↓



外国の方に関わる相談や情報提供は

■しまね国際センター
相談専用ダイヤル
070-3774-9329

雲出大 学生のアバイト禁止

カラオケ、居酒屋、ナイトクラブ

新型コロナウイルスの感

染拡大を受け、島根県立大

(清原正義理事長兼学長)

は30日、出雲市西林木町の

出雲キャンパスに通う学

生がカラオケ店、居酒屋、

ナイトクラブでアバイト

トすることを当面の間、禁

止すると発表した。出雲

キャンパスは看護栄養学

部を抱え、病院で実習があ

るため、感染防止を徹底す

る。

浜田、松江両キャンパス

では禁止はしないものの、

居酒屋やスナックなどでの

アバイトを自粛するよう

要請した。

県立大の担当者は「3密」

になりやすいとされる業

種でのアバイトに制限

をかけたとし「実習で外部

の人と接する機会が多い

ため出雲キャンパスはよ

り厳しく対応した」と話し

た。

出雲キャンパスの学生に

はこのほか、オンラインで

の活動を除き、クラブ・サ

ークル活動を自粛するよう

求めた。

授業は3キャンパスとも

引き続きオンラインが中心

となる。夏休みは、出雲キ

キャンパスで1カ月、浜田、
松江両キャンパスで1週間
それぞれ短縮する。

(井上雅子)